

コース 10 とくせんじょうさん ごようさん 徳仙丈山と五葉山

リーダー CL K/T SL M/T

実施日 平成26年5月31日(土) 6月1日(日) 天候 快晴

参加者 24 (男性 2 女性 22)

グレード C

コースポイント

ポイント	到着時間	出発時間	備考
5/31 秋葉区役所前		4:50	磐梯山・国見・長者原の各SAで休憩
徳仙丈山	12:05	14:15	気仙沼側登山口より往復 山ツツジ盛り過ぎ
碁石海岸	15:35	16:05	気仙沼、陸前高田の被災地を通過し、黙禱
旅館「菊水館」	16:25		去年の新築 部屋、料理、接遇全て良い
6/1 赤坂峠	7:10	7:35	ツツジのトンネル 賽の河原、畳石等を通過
五葉山山頂	10:30	10:40	堂々たる山頂標柱に大喜び 競って写真撮影
五葉山神社	11:25	11:30	笹原に石楠花、岳樺、五葉松 日本庭園の様
日枝神社	12:00	13:05	広闊な縦走路を俯瞰 大眺望での昼食
赤坂峠	15:05	15:25	登山口反対側ツツジ山 全山赤と緑が眩しい
秋葉区役所前	23:22		高速道で火災があり、急遽山形経由に切替え

山行等概要（幹事のコメント）

- 今回の泊まりがけの二座は、この時期どちらも赤く燃える山ツツジがメイン。しかし「花」は難しい。全山ツツジ山となる徳仙丈山では今年は昨年より1週間早く最盛となった。しかし、唯一急登下降の山頂直下はなんとか最盛を保っていて救われた。
- 一方五葉山は自分の知る最盛とほとんど花を付けなかった時との中間くらい。地元の話では、2年続きでこんなだと言う。それでも40分程入った賽の河原前後では最盛期と思わせる花盛りで、皆さん大喜びでカメラを撮りまくっていた。
- 登山道は初め1時間程度緩やかに山ツツジの道に行く。畳石の広場からはやや急登で小一時間ほど斜めに登って、やがて平坦な稜線へ出る。林床は背が低く、斑入りの美しい笹に覆われ、今までになくアカヤシオツツジが多く樹林の緑に映え、この山の特長の石楠花の大株・五葉松・岳樺等が次々と現れ、あたかも美しい日本庭園に行くようであった。石楠花の時期は7月中旬頃とか。
- 新装になった無人小屋「しゃくなげ荘」の前の湧き水の冷たくおいしかったこと。山へのお礼にと私たち皆が下から担いできた薪を置いてほんの一登り、急に視界が開けて大展望へ飛び出す。一同、オッ、オッの感嘆の声。



① 徳仙丈山直下の山ツツジに囲まれて。
後ろの上方は山頂。1班の皆さん

- 緩やかに登り着いた山頂には、この素晴らしい山に相応しい立派な巨石づくりの標柱が立っていた。眼下には石巻の海岸線、北遙かにかの早池峰山の偉容、だが岩手、栗駒、鳥海の山々は好天過ぎる霽の中で見えなかった。

「徳仙丈山と五葉山」登山に参加して

(1463) E/S

今回は、雨の心配がない天気予報で、安心してバスに乗りました。しかし6時間もバスに揺られていると、お尻が痛くなり、その日はとても疲れしました。

でも、徳仙丈山に到着するとセミの大合唱に迎えられ、また山ツツジ、レンゲツツジに感嘆して歩きました。時折うぐいすの美声に聞き入りながら、ムラサキヤシオも咲いており眺め入って歩いていると、もう山頂に到着です。朝食が早かったせいかお腹がすき、山頂のお昼は美味しかったです。

徳仙丈山と言えば気仙沼市です。3年前の震災を思います。気の毒と思っているにも正直一度も協力できずに来てしまいました。

今日の宿は民宿。そこに行く道すがら、被災地を通ります。テレビニュースは見てきましたが現地を見るなんて心が交錯します。津波が押し寄せたリアス式の海。

その海が、何事もなかったかのように穏やかです。バスが進むとあの有名になった一本松が見えてきました。胸がジーンとします。車窓に釘付けになり、土台だけ残った家、新しくなった家、地形的に高い所は家が残って生死を分けた一面が伺えます。もっと早く復興できないのかと思ってきましたが、わかる気もしました。橋脚かと思った建物がダンプの代わりに、土砂を運ぶ巨大なベルトコンベアでした。現代の先端の工事方法です。

運命を分けたあの震災、私は心から思いました。こうして元気で登山ができるなんて。感謝の気持ちを忘れてはならないと！！



②徳仙丈山山頂の祠の前にて。2班の皆さん



③大船渡の碁石海岸の展望台にて。
ここで黙祷を捧げた。

翌日は、岩手県の五葉山です。菊水館の新鮮な魚料理を頂き、宿を後にしました。

五葉山でも登山道でツツジが迎えていました。まだ蕾でしたが見事なシャクナゲがあり、咲いたら見てみたい気持ちになりました。日枝神社から、北へ五葉山山頂、南へ五葉山神社へとそれぞれ往復して戻ってくると、日枝神社の前に人が大勢いて、正午から山開きの神事があるそうです。それに期せずして参加して、お祓いを受けました。御利益のお神酒も頂き、にわかに土地の人気分でした。ここでお昼を頂きました。

畳石、賽ノ河原などを再び通過して下山口に着きました。バスが待っている駐車場の上の山は、全山ツツジで燃えている様です。

帰りのバスの中は暑かったので、各々恒例の飲み物で楽しく過ごしました。後2時間位で新潟に着く頃、大変なことに巻き込まれました。国見と白石の間に火災事故が起きていたのです。

運転手さんの交代も磐梯山 SA の予定なのに行けないのです。心配でしたが山形道を経由して帰るしかありません。結局家について時間を見たら11時30分頃でした。

今回は思いがけないことに遭遇しましたが、登山を通してこんな人生を感じた事はなかったです。濃縮した時間を過ごさせて頂きました。リーダーさんに感謝です。ご一緒した皆さん、お世話様でした。



④五葉山登路。賽の河原を過ぎて山ツツジの間から山頂を望む。3班の皆さん



⑤五葉山山頂



⑥五葉山山頂への分岐の日枝神社から、五葉山神社方向の縦走路を大展望する。